

アシスタントワーカー導入等による福祉・介護人材支援事業

福祉・介護人材における課題

人材確保が難しい

人材育成、定着が進まない

業務負担の増

サービスの質の低下・モチベーションの低下

慢性的な「介護職員・生活支援員」の不足により職員の負担感が大きい

職場改善まで進まない



退職者対応



求人・採用対応

人材紹介会社の高額な仲介料やミスマッチ

《仕事の例》



入浴の支援



食事介助



家族対応



体調管理



見守り



権利擁護



施設内の支援



片付け・掃除



配膳・下膳



日中活動の支援

年中、職員の採解に追われている経費もかさむ



業務がいっぱい



丁寧に利用者に寄り添う時間がない



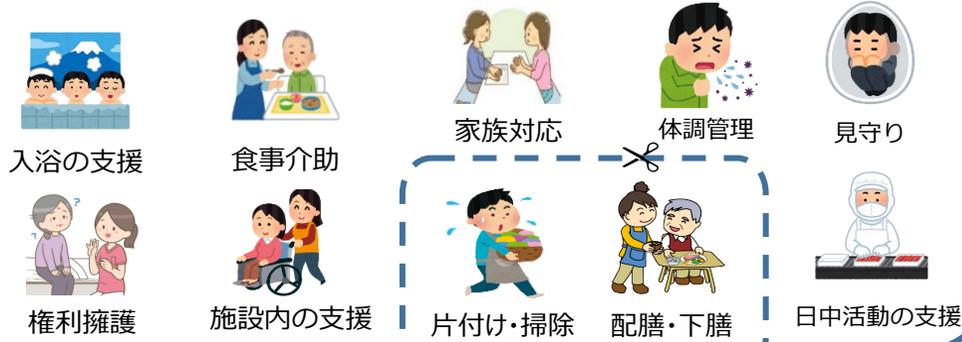
アシスタントワーカー導入等による福祉・介護人材支援事業

事業目的

直接介助に携わらない業務を担う「アシスタントワーカー」を導入することで、

- ① 福祉・介護になじみのない層の参入（人材のすそ野拡大）
- ② 職員の負担軽減・モチベーション向上（介護職員・生活支援員が力を発揮できる環境づくり）

《仕事の例》



働きやすい環境
が整備され
職員の離職
が減った



生活支援員

介護の仕事が切り分け
されていて、自分ができそう
な業務がある！

「アシスタントワーカー」

利用者への直接支援は、
介護職員・生活支援員へ！

確保
(職員採用)

「施設での掃除や配膳など間接的な業務」
仕事内容を分かり易くして職員募集

活用
(業務内容)

「アシスタントワーカーが行う仕事を限定」
アシスタントワーカーの業務を明確化

- ・ 高齢者や子育て層など多様な人材の参入
- ・ 福祉・介護職への道筋につなげる人材の育成
- ・ 求人の選択肢増による人材確保の負担減

目指す姿

- ・ 働く職員が力を発揮できる環境づくり
- ・ 利用者へのサービスの質の向上
- ・ 専門職のモチベーション向上
- ・ 離職防止（職員の定着）